

2020 年度 高等教育研究コンソーシアム信州 学生活動支援事業活動報告書

団体等名	おまつり研究会&レプリ館	
代表学生	所属大学名・学部・学年	信州大学・教育学部・3年
	ふりがな 氏名	いでうらゆう 出浦祐羽
教職員責任者	所属大学名・職名・ ふりがな 氏名	信州大学・准教授 たかやなぎみつとし 高柳充利

活動名	演劇
実施時期	2021年1月30日
実施場所	ホームページや SNS による動画公開(撮影場所：市立中部公民館第5地区分館)
活動内容	今年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、演劇をはじめとする多くの芸術活動が中止・延期を余儀なくされた。そこで、演劇による地域の芸術活動の活発化を目指し、学生自身の成長や表現の場を残していくことを掲げ、活動を行った。動画の公開前に、SNS を利用して宣伝を行った。ホームページや SNS 等での公演にあたり、撮影は公民館をお借りして、人数制限やフェイスシールドや体温チェック、使用した設備や自身の消毒、部屋の換気等、できる限りの感染症対策を行い、稽古や撮影を行った。短い時間で多くの人に楽しんでみてもらえたらという気持ちで、脚本は短いものを作成した。このような状況で、それにより多くの拘束がある中、支援を頂けたことで表現の場を設けることができたこと、それを動画を通して多くの方に見ていただけることの喜びと感謝の気持ちが少しでも伝わるように思いながら、活動を行った。
活動の成果と今後の課題	当初の活動は、多人数による1時間ばかりの劇を12月中旬頃大学構内にて行う予定であったが、感染症拡大により、大学構内での活動の禁止、また、室内での大人数の大きな声を出す活動が難しくなってしまったことにより、急遽活動の自粛をせざるを得ない状況となった。代替りの活動をどうにか行えないかと考え、様々調整した結果、新しい脚本で、人数を2人にし、ビデオ撮影とその公開という形で、対策をより強化して行うことになり、実施時期を大きく変更することになってしまった。ビデオ撮影時は、役者は常にフェイスシールドを付けて演技するなど徹底した。動画での公開は初めてであったため、不慣れな状況で音質や画質などの面で至らない点多々あったが、SNSでの動画公開は、普段直接は見にくることのできない方々にも、私たちの活動を見ていただける機会となり、宣伝活動などもあまり行えなかった中で、実際に80人以上の方々に見ていただくことができた。今後の団体の活動でも、多くの方に見ていただけるように、今回のように動画による公開のような方法も考えて活動していきたい。

※記述が枠内に収まらない場合は、枠を拡大してください。

※活動内容が分かる資料や写真等があれば、添付してください。添付書類を含む活動報告書一式は、A4判4枚以内にまとめてください。

※提出された活動報告書一式は、各関係機関等に公表するとともに、高等教育コンソーシアム信州のHPへの掲載を予定しています。

実際公開した動画の一場面

信州大学劇団サークル
おまつり研究会&劇団レプリ館
第71回冬公演代替公演

